



都道府県の漢字 ワークシート



なまえ

組

番

都道府県の漢字を書きましよう。

ほっ かい とう

Blank box for writing 'ほっかいとう'

あお もり

Blank box for writing 'あおもり'

いわ て

Blank box for writing 'いわて'

みやぎ

Blank box for writing 'みやぎ'

あき た

Blank box for writing 'あきた'

やま がた

Blank box for writing 'やまがた'

ふく しま

Blank box for writing 'ふくしま'

いばら き

Blank box for writing 'いばらき'

とち ぎ

Blank box for writing 'とちぎ'

ぐん ま

Blank box for writing 'ぐんま'

さい たま

Blank box for writing 'さいたま'

ち ば

Blank box for writing 'ちば'

とう きょう

Blank box for writing 'とうきょう'

かなが わ

Blank box for writing 'かながわ'

にい がた

Blank box for writing 'にいがた'

とやま

Blank box for writing 'とやま'

いし かわ

Blank box for writing 'いしかわ'

ふく い

Blank box for writing 'ふくい'

やま なし

Blank box for writing 'やまなし'

なが の

Blank box for writing 'ながの'

ぎふ

Blank box for writing 'ぎふ'

しず おか

Blank box for writing 'しずおか'

あい ち

Blank box for writing 'あいち'

み え

Blank box for writing 'みえ'

都

都

しが

Blank box for writing 'しが'

きょう と

Blank box for writing 'きょうと'

おお さか

Blank box for writing 'おおさか'

ひょう ご

Blank box for writing 'ひょうご'

なら

Blank box for writing 'なら'

わ か

Blank box for writing 'わか'

とつ とり

Blank box for writing 'とっとり'

しま ね

Blank box for writing 'しまね'

おか やま

Blank box for writing 'おokayama'

ひろ しま

Blank box for writing 'ひろしま'

やま ぐち

Blank box for writing 'やまぐち'

とく しま

Blank box for writing 'とくしま'

か がわ

Blank box for writing 'かがわ'

え ひ め

Blank box for writing 'えひめ'

こう ち

Blank box for writing 'こうち'

ふく おか

Blank box for writing 'ふくおか'

さ が

Blank box for writing 'さが'

なが さき

Blank box for writing 'ながさき'

くま もと

Blank box for writing 'くまもと'

おお いた

Blank box for writing 'おおいた'

みや ざき

Blank box for writing 'みやざき'

かご しま

Blank box for writing 'かごしま'

おき なわ

Blank box for writing 'おきなわ'

都

四年生までで書いた漢字で、全ての都道府県名を書けるよ!

終わったら見なおして書き直そう。





都道府県の漢字 ワークシート

都道府県の漢字をなぞりましょう。



なまえ

組

番

1	北海道	北海道地方
---	-----	-------

2	青森県	東北地方
3	岩手県	
4	宮城県	
5	秋田県	
6	山形県	
7	福島県	

8	茨城県	関東地方
9	栃木県	
10	群馬県	
11	埼玉県	
12	千葉県	
13	東京都	
14	神奈川県	

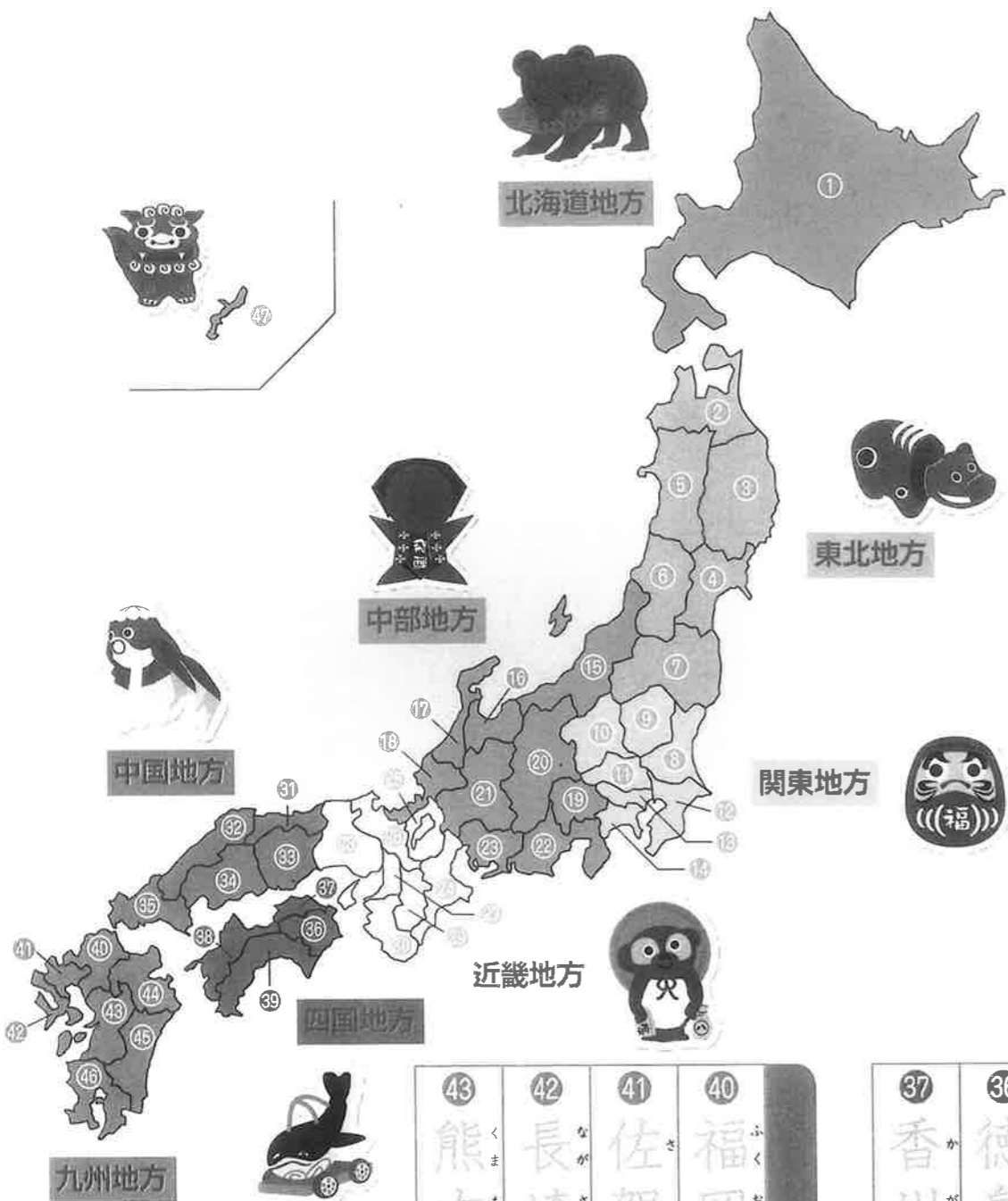
15	新潟県	中部地方
16	富山県	
17	石川県	
18	福井県	
19	山梨県	
20	長野県	
21	岐阜県	
22	静岡県	
23	愛知県	

24	三重県	近畿地方
25	滋賀県	
26	京都府	
27	大阪府	中国地方
28	兵庫県	
29	奈良県	
30	和歌山県	

31	鳥取県	中国地方
32	島根県	
33	岡山県	四国地方
34	広島県	
35	山口県	

36	徳島県	四国地方
37	香川県	
38	愛媛県	九州地方
39	高知県	

40	福岡県	九州地方
41	佐賀県	
42	長崎県	
43	熊本県	
44	大分県	九州地方
45	宮崎県	
46	鹿児島県	
47	沖縄県	



日本地図で、位置をかくにんしながら、書いてみよう！

漢字のたしかめ

夏休み前のまとめ 分ける・くちくち・短歌・俳句に親しもう(1)(2)(3)

9~85

なまえ

組

番

知識・技能

漢字を書きましよう。——の言葉は、漢字と送りがなで書きましよう。

各2点(10)

10 人 [] の進化。	9 音 [] さくいん	8 百科事 [] てん	7 [] じ 書で調べる。	6 姉の [] あい 読書。	5 [] りょう 理を作る。	4 自 [] しん をもつ。	3 強い [] いん 象。	2 科学の発 [] たつ	1 [] せき にすわる。
20 [] いばら の道。	19 魚の大 [] ぐん	18 [] し 合を見る。	17 科学 [] てき	16 [] な の花	15 小 [] せつ を読む。	14 [] さく 夜の天気。	13 お [] しろ を見る。	12 [] す きな絵。	11 [] じゆん 番を守る。
30 [] き 会を待つ。	29 [] きゆう 食の時間。	28 [] さい 初の話。	27 書き方の [] れい	26 [] せん 争と平和。	25 取 [] ざい する	24 市と [] ぐん	23 四 [] き の草花。	22 [] よう 点を書く。	21 [] せつ 分の日。
40 五月の [] しゆく 日。	39 住所と [] し 名。	38 [] い 服を着る。	37 [] とく 色のない店。	36 一 [] りん の花。	35 [] ぐん 隊に入る。	34 泳ぎの [] きよう 争。	33 [] おっと と妻。	32 [] じ 童書	31 [] と 歩で通う。
50 [] しずかな場所。	49 [] 思いをつたえる。	48 [] 紙につつむ。	47 [] いさましい行進。	46 [] お茶があつい。	45 [] 本をえらぶ。	44 [] ほめられて、てれる。	43 [] 病院をたてる。	42 [] 友とわかれる。	41 [] 風船をとばす。

終わったら見ながしをしましなう。



① 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

これは、わたしが小さいときに、村の茂平もへいというおじいさんから聞いたお話です。

昔は、わたしたちの村の近くの、中山という所に、小さなおしろがあつて、中山様というおとの様がおられたそうです。

(1) このお話は、だれが、だれから聞いたものですか。

() が () の () という () に

聞いたお話

(2) わたしたちの村の近くは、昔はどんな様子だったと書いてありますか。

() 小さな () があり、 () という () がおられたそうです。

② 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ごんはひとりぼっちの小ぎつねで、しだのいっぱいしげった森の中に、あなをほってすんでいました。そして、昼でも、夜でも、辺りの村へ出てきて、いたずらばかりしました。畑へ入っていもをほり散らしたり、菜種がらのほしてあるのへ火をつけたり、ひやくしょう家のうら手につるしてあるとんがらしをむしり取っていたり、いろんなことをしました。

(1) ごんはどんなきつねですか。

() の () () きつね

(2) ごんは、どこに、どのようにすんでいましたか。

() 森の中に、 () すんでいた。

(3) 「ほり散らした」とは、どんな意味ですか。

ア () ほったあとに、ほったらかshにしている様子。

イ () ほったり、ほらなかつたりしている様子。

ウ () ほったあと、ていねいにうめている様子。

(4) ごんのしたいたずらを、三つ書きなさい。

① () を () 。

② () に () 。

③ () を () 。

■ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

兵十ひょうじゅうがいなくなると、ごんは、ぴよいと草の中から飛び出して、びくのそばへかけつけました。ちよいと、いたずらがしたくなったのです。ごんは、びくの中の魚をつかみ出しては、はりきりあみのかかっている所より下手の川の中をめがけて、ぽんぽん投げこみました。どの魚も、「トボン」と音を立てながら、にぎった水の中へもぐりこみました。

いちばんしまいに、太いうなぎをつかみにかかりましたが、なにしろ、ぬるぬるとすべりぬけるので、手ではつかめません。ごんは、(あ)になって、頭をびくの中につっこんで、うなぎの頭を口にくわえました。うなぎは、キュッといって、ごんの首へまきつきました。そのとたんに、兵十が、向こうから、

「うわあ、ぬすどぎつねめ。」

と、となりたてました。ごんは、びっくりして、とび上がりました。うなぎをふりすててにげようとしたが、うなぎは、ごんの首にまきついたままはなれません。ごんは、そのまま、横つとびにとび出して、いっしょうけんめいににげていきました。

ほらあなの近くの、はんのきの下でふり返って見ましたが、兵十は追っかけては来ませんでした。

ごんは、ほっとして、うなぎの頭をかみくだき、やっと外して、あなの外の草の葉の上のせておきました。

(1) 兵十がいなくなると、ごんは何をしたのでしょう。

() の中から飛び出して、
() へ
() 。

(2) ごんはどんな思いで、(1)のようにしましたか。正しいものに○をつけなさい。

- ア () びくの中を見たいな。
イ () 魚を取って食べたいな。
ウ () ちょっといたずらをしてやろう。

(3) 文中の(あ)には次のどの言葉があてはまりますか。○をつけなさい。

- ア () かなしく
イ () じれったく
ウ () うれしく

(4) 兵十に「となりたて」なれたごんの気持ちに合うものを、次の中から選んで○をつけなさい。

- ア () 大きな声におどろいた。
イ () いたずらが、うまくいったと思った。

(5) ごんは、うなぎをどうしましたか。

- ・うなぎの () をかみくだいて外し、 () の外の草の葉の上にかみくだき、 () 。

(6) (5)から次のどちらのことがわかりますか。

- ア () うなぎを食べようと思った。
イ () うなぎを食べるつもりはなかった。

物語文
ごんぎつね ③

(出典：前掲)

名前

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

うら口からのぞいてみますと、兵十は、ひろめし昼飯を食べかけて、茶わんを持ったまま、ぼんやりと^ア考えこんでいました。変な^{へん}ことには、兵十のほっぺたに、かすりきずがついています。どうしたんだらうと、ごんが思っていますと、兵十がひとり言を言いました。

「いったい、だれが、いわしなんかを、おれのうちへほうりこんでいったんだらう。おかげでおれは、ぬす人と思われて、いわし屋のやつに、ひどい目にあわされた。」と、ぶつぶつ言っています。

ごんは、これは(^あ)と思いました。

「かわいそうに、兵十は、いわし屋にぶんなぐられて、あんなきずまで付けられたのか。」

ごんはこう思いながら、そつと物^{もの}置きの方へ回って、その入り口に、くりを置いて帰りました。

^⑤次の日も、その次の日も、ごんは、くりを拾っては、兵十のうちへ持ってきてやりました。

(1) 兵十のほっぺたに、きずをつけたのは、だれですか。

(2) どうして、そうなったのですか。

いわし屋に

と思われたから。

(3) 「^ア考えこんでいた」兵十の気持ち、次の中から^{えら}選んで、○をつけなさい。

^ア() いわしを取りかえされて、くやしいな。

^イ() 一人だけの食事はさびしいな。

^ウ() だれが、いわしを^お置いていったのだらう。

(4) 文中の(^あ)に入る言葉で、正しいものに○をつけなさい。

^ア() うれしい ^イ() いやだな

^ウ() しまった ^エ() はずかしい

(5) この日、ごんが兵十にしてやったことは何ですか。 () を

(6) 「^⑥次の日も、その次の日も」それをやめなかったのは、なぜですか。

^ア() 兵十には、めいわくをかけてしまったから。

^イ() 兵十はくりが好きだったから。

^ウ() くりが多く取れて、あまったから。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

そのとき兵十は、ふと顔を上げました。(あ)、きつねがうちの中へ入ったてはありませんか。こないだ、うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが、またいたずらをしに来たな。

「ようし。」

兵十は、立ち上がってなやにかけてある火なわじゅうを取って、火薬をつめました。

そして、足音をしのばせて近よって、今、戸口を出ようとするごんを、ドンとうちました。ごんは、ばたりとたおれました。兵十は、かけよってきました。うちの中を見ると、土間にくりがかためて置いてあるのが目につきました。

「おや。」

と、兵十はびっくりして、ごんに目を落としました。

「ごん、おまえだったのか。いつも、くりをくれたのは。」

ごんは、ぐったりと目をつぶったまま、うなぎきました。

(1) 文中の(あ)には、かなが一字入ります。正しいものを選び、○をつけなさい。

ア) () が イ) () か ウ) () そ エ) () と

(2) ふと顔を上げた兵十は何を見ましたか。

() () が () () 見た。

(3) 兵十がごんに対して、はらを立てていることがわかる言葉を書きなさい。

うなぎを () (あのごんぎつね) () ()。

(4) 「ようし」と思った兵十の気持ちを、次の中から選んで○をつけなさい。

ア) () つかまえて、しかってやろう。 イ) () 少しおどかしてやろう。

ウ) () うちころしてやろう。

(5) (4)はどの文からわかりますか。文の横に——線を引きなさい。

(6) 「ごん、おまえだったのか。いつも、くりをくれたのは。」からわかる兵十の気持ちで、正しいと思うものに二つ○をつけなさい。

ア) () やっと、いたずらぎつねをしとめたぞ。

イ) () お前は、いたずらぎつねじゃなかったんだな。

ウ) () しまった、じゅうでうつなんてことをするんじゃないかった。

エ) () くりなんてくれたって、うなぎのつぐないにはならないぞ。